



大会延期に伴う契約変更について (IOC及びAtos との供給契約)

テクノロジーサービス局

2020年11月27日

1. 審議事項

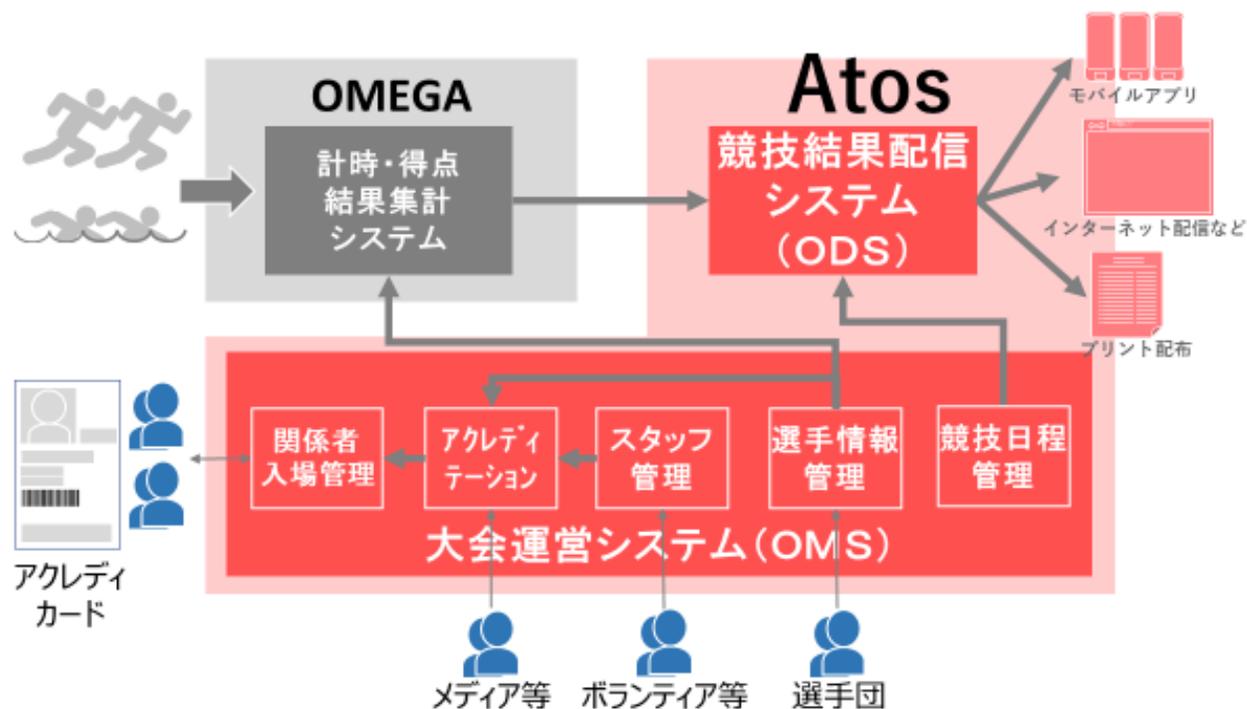
- ▶ 組織委員会が各ステークホルダーに対して各種ITサービス（特にスポーツ・オペレーションに関する分野）を継続提供するために、IOC、Atos及び組織委員会の3者間※で包括的な供給契約（**PA**:Particularised Agreement）を締結済み（第15回作業部会【2018年9月28日】にて承認）
- ▶ 今回の大会延期を受けて、契約期間及び契約金額の変更を要することから、次ページ以降の契約変更の実施を伺う。

※Atosが複数大会に渡ってITサービスを提供することについては、IOCとAtosとの間で契約（MITA:Master IT Agreement）が締結済みであり、その契約に基づき、東京大会におけるITサービスの供給に関して、IOC、Atos及び組織委との間でPAを締結することとなっている。

2. 背景（Atos PAの内容及びスコープ）

PAに基づきAtosから提供されるサービスは以下の通り

- 1 ITサービス全体の統合管理
- 2 競技結果配信システム・大会運営システムの開発及び運用とサポート
- 3 上記システムが稼働するデータセンター環境の提供と運用



3. 実施内容（契約変更内容）

大会延期を踏まえた契約変更の必要性は以下のとおり

- ① ボランティア応募者への意向確認、大会関係者へのアクレディテーション申請など、各FAの業務継続のために、大会運営システムの運用の継続が必要
- ② サポート期限切れを迎えるサーバ監視ツールなどのソフトウェアの入れ替えやそれに伴う事前検証作業、入れ替え後の試験などが必要
- ③ 2021年頭からの競技結果配信システム準備本格再開に伴って、停止していたサーバのセキュリティ環境などを最新の状態に更新したうえで、追加試験を行うことが必要

3. 実施内容（契約変更内容）

具体の変更業務

1. ITサービス全体の統合管理：

- インテグレーションプロジェクト管理、および各種サービス毎の運用管理の継続
- 各種ツール（サービスデスクツール等）の継続
- 製品サポート切れに伴う監視ツールの入れ替え

2. 競技結果配信システム・大会運営システムの開発及び運用とサポート：

- 競技結果配信システム（ODS）
 - 最新セキュリティパッチの適用とシステムの回帰テスト／最新のOSとブラウザでの動作確認テスト
 - システム環境の再開、追加マルチスポーツテストに向けたシステムサポート
- 大会運営システム(OMS)
 - 最新セキュリティパッチの適用とシステムの回帰テスト／最新のOSとブラウザでの動作確認テスト
 - システムの本番運用継続に伴う技術サポート、ソフトウェアサポート
 - ボランティア・ACR業務等の再開に向けた技術面、業務面でのサポート

3. 上記システムが稼働するデータセンター環境の提供と運用：

- ネットワークサービスの継続提供とメンテナンス
- 各種システム環境の運用継続